

「3.11」の震災から7年が経過しようとしています 東日本大震災復興支援募金にご協力をお願いします



福島県富岡町の様子。放射線量が高く、立ち入りが禁止された住宅前にバリケードが立ち並び



福島県内の国道沿いに見える汚染土の仮置き場。避難解除された区域でもあちこちに見られる



2017年12月に財団の石巻事務所を訪問した組員

共生地域創造財団の取り組み

震災直後、緊急の物資支援から始まった共生地域創造財団の取り組みは、被災した方の心のケアやコミュニティづくり、震災によって仕事を失った方への就労支援へと、地域の状況や変化に応じて日々移り変わってきました。自治体(岩手県大船渡市・大槌町、宮城県石巻市)の委託を受け行っている在宅被災者の見守り支援の取り組みなどを通じて、様々な活動とたくさんの方のネットワークが生まれています。

東日本大震災と東京電力福島第一原発事故から間もなく7年になります。被害が大きかった地域では、見た目には日々復興が進んでいるようですが、今なお支援を必要とする多くの方がいます。グリーンコープはこれからも、※公益財団法人共生地域創造財団を通して、様々な困難を抱えている人への支援を続けていきます。

※グリーンコープ、ホームレス支援全国ネットワーク、生活クラブ生協が連携して、被災地の復興支援などをしながら、共生地域の創造を目指す団体



グリーンコープ共同体
代表理事 熊野 千恵美さん

昨年12月、被災地を訪問し、支援活動を通じてつながりが生まれた方々にお話をうかがいました。福島では、除染土の仮置き場がいたる所にあり、原発事故の悲惨さを物語っていました。避難解除された故郷に戻った方々、戻れない方々。分断された地域を目の当たりにしました。そのような中、人と人との新しいつながりの形づくりも始まっており、これからも少しでも力になればと思います。石巻では、仮設住宅に8年目も入居できるのは住まい再建の見通しがある世帯だけで、先行が決まっていなかった方は退去期限を守る必要があるそうです。健康のことなど不安を抱えた方々が安心して暮らしていけるよう、寄り添う気持ち、生活再建への伴走が必要です。共生地域創造財団の活動の必要性をあらためて感じました。これからも支援が必要な方に活かされるカンパにご協力をお願いします。

東日本大震災復興支援募金 受付期間▶ 3月5日(月)～3月17日(土)

これまでの募金状況 (2017年12月20日現在)

組員と取引先の皆さんから寄せられた募金総額	3億 2075万 8311円	残高
共生地域創造財団での活用(拠出)	1億 8300万 0000円	5439万 9177円
グリーンコープ独自支援に活用(拠出)	8335万 9134円	

申込番号

006

—□ 200円

申込番号

007

—□ 500円

申込番号の数字欄に口数を記入してください。

※51号と52号の共同購入申込書でお申込みください。

※【例】申込番号「006」の数量欄に「2」と記入された場合は、400円のカンパとして受け付けさせていただきます。

何口でも
申し込めます。

地域づくりや産業の復興に向けてがんばっている方々を これからもみんなで応援していきましょう

福島県 南相馬・避難勧奨地域の会

原発事故から7年が経過し、避難解除区域も増えていますが、まだ放射線量が高いところも多い状況です。2015年にグリーンコープが贈呈した放射能測定器で、市民による土壌汚染の実態調査が続けられています。汚染の現状は多くの住民に知られておらず、データをもとに広く地域の皆さんに知らせる活動をされています。



グリーンコープが贈呈した放射能測定器が活用されている



住民が利用しているスーパーの駐車場の一角でガイガーカウンターで放射線量を測定したところ高い放射線量の結果が出た(2017年12月)

キッチンカー 川内村



仮設住宅が閉鎖され、高齢者の多くが川内村に帰っています。しかし川内村の山間部は今も多くの汚染土の仮置き場となっています。自宅に戻って孤立しがちな高齢者の生活をキッチンカーで応援しています。

花見山を守る会 福島市

地域の人に愛され続けた花見山の桜は除染のために伐採されましたが、その後、支援の輪が広がり、植樹が進められています。花見山を守る会では花見山サロンを立ち上げ、再び地域の人々のつながりを取り戻す取り組みをされています。



花見山に桜の苗木を植樹。寄付に賛同したグリーンコープの関係者にプレゼントも多い

ひまわりプロジェクト 福島市



全国の支援者がひまわりを育てて採った種を届け、NPO法人シャロームがひまわり油にして販売。その収益で子どもたちへの支援が続けられています。グリーンコープはその取り組みに賛同し、ひまわりを植えて種を届けています。また、子どもひまわり大使の保養や交流も行っています。

グリーンコープはひまわり油「みんなの手」をカタログで案内しています



2017年8月、グリーンコープ生協(島根)とくまももでは、子どもひまわり大使を受け入れて交流した。写真は島根県の田ノ浦海岸でカヤックを体験したようす

宮城県 土耕栽培の復興いちご 亘理町



いちご農園を営む斉藤さんは、震災時に全滅したいちご農園の復興に支援の手を差し伸べてくれた皆さんへの恩返しだと、今もハウスを拡充し生産を継続されています。

ハウス内でミツバチを使っている授粉等の説明をする斉藤さん

一般社団法人コミュニティスペース うみねこ 女川町



手仕事の一つ、ストラップづくりを視察した組員が体験(2017年12月)



うみねこの「ゆめ玉ストラップ」

地元で生き生きと仕事をしたいと思っている人を応援しようと、手仕事づくりやカフェの仕事、イチジクの栽培や人材育成にも取り組まれています。